

令和元第2回志摩市議会定例会

請願文書表

受	令和元年 8月23日	紹介議員	小河 光昭
付	第4号	請願者の 住所氏名	志摩市阿児町鶺方3347-2 文岡中学校PTA 志摩市PTA連合会 会長 関戸 透 他3名
件 名	防災対策の充実を求める請願書		付 託 委 員 会
<p>〈要旨〉 別紙のとおり</p>			

防災対策の充実を求める請願書

提出 令和元年8月23日

志摩市議会議長 中村 和晃 様

紹介議員 小河光昭

提出者

〒517-0501
志摩市阿児町鷺方3347-2
文岡中学校 PTA
志摩市PTA連合会 会長

関戸



〒517-0209
志摩市磯部町恵利原1300
磯部中学校 校長
志摩市中学校長会 会長

下村 俊



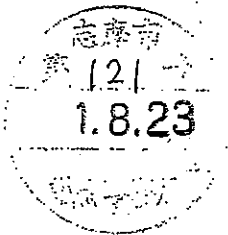
〒517-0505
志摩市阿児町甲賀1518
東海小学校 校長
志摩市小学校長会 会長

坂下



〒517-0501
志摩市阿児町鷺方3179
三重県教職員組合志摩支部
支部長

千草 義雄



請願の趣旨

子どもたちの安心・安全を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をはかるよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

「南海トラフ巨大地震の被害想定（第二次報告）（2013）」にもあるように、東海地方が大きく被災した場合、三重県内の避難者数は、地震発生翌日で約35～56万人にのぼり、一か月後においても約10～20万人が避難所生活をつづけることになると推計されています。東日本大震災（2011年）、西日本豪雨（2018年）等これまでの災害で、多くの学校が避難所となったように、県内でも9割以上の公立学校が避難所指定を受けており、有事の際には地域の避難所となることが予想されます。

2019年5月1日現在、志摩市内の小中学校13校のうち、9校（小学校6校、中学校3校）が指定避難所となっています。防災関係施設・設備の設置率では、普通教室のエアコンは100%であり、非構造部材の耐震化対策のうち、学校施設の屋内運動場等の天井等の落下防止対策達成率は100%、非常用通信装置の設置率100%、書架・備品等の転倒落下防止対策の達成率100%と対策が充実しています。また、今年度は、緊急地震速報の受信端末が設置される予定です。しかし、ガラス飛散防止対策の達成率は85%であり、自家発電設備や屋内運動場多目的トイレなどの設置率は、まだまだ十分であるとは言えず、早急な対策実施が強く求められます。

また、志摩市内の津波による浸水が予測される地域等に所在する小中学校は、13校中3校（23.1%）となっています。過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えのもと、防災に関わる施策がさらに充実されることを強く望むところです。

以上のような理由から、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をすすめることを強く切望するものです。